

図書館だより

92. 7

花川館、ことはじめ

小笠原 克 (図書館長)

研究室を出て、地下鉄～バスを乗り継ぎ、花川キャンパスの図書館に着くまでおよそ50分。

5月1日の花川館開館以後、支障のないかぎり週一度“花川詣で”をしているが、所要時間はほぼ変わらない。違い、という感覚よりも、近頃はほどほどの隔りと思うようになった。

人間生活学部開設に伴なう図書館関連の膨大な作業——そのための、異常というべき長期間の16条本館閉鎖、浴びせられた学生・教職員の憤懣と悪評はいまだ耳底にじんじん鳴っているのだが——ともかくもそれを搔きわけ漕ぎわけて、蔵書2万7千冊、雑誌160種、座席48で、なりふりかまわずスタートしたのだった。



目 次

| | | | |
|--------------------|---|-----------------|---|
| 花川館、ことはじめ 小笠原克 | 1 | 「日本の方ですか？」 新井良夫 | 4 |
| 花川館の概要 | 2 | 知られざる世界 | |
| 引越しのお話 | 3 | 藤図書館のあれこれ | 6 |
| 折込み付録 花川館 MAP etc. | | お知らせ | 8 |

たちどころにクレームがついた。人文系の書籍雑誌が皆無に近いではないか！ 目録カードが無いじゃないか！ 寄贈本が並んでないゾ！

ウチからソトから、苦情や批判、あるいは嘲笑・黙殺にいたるまで、ナヤミは尽きない。事務局とも気まずい思いをし、学長に悪態つきながら、しかし果報ハ寝テ待テともゆかぬから、当分は“胃に悪い”花川詣でが続く。文字通りに“緊急順不同”的応急措置半ばで開館したというのが実感だったから、6月13日の「人間生活学部開設式」御参列の朝野の名士に、図書館を御案内申しあげるのは拝辞したい思いだったが、見知った顔には見て見ぬフリ、御歴々にはそそくさ素通りしていただけるようココロを碎いたことであった。嗚呼――

ショックだったのは、開館後10日ほど、学生の「購入希望図書申込書」に、<ふつうの本><小説（文庫本）>と書かれたことであった。花川に移った短大家政科の学生には、16条本館との落差はまさに一目瞭然であったろう。そこで急遽“寄贈本（文庫）コーナー”を設け、約1200冊、借出し・返却をノートに記入するだけの“超法規的措置”で御勘弁願うこととし、これがなかなかの稼働率を示しているのは、果して喜ぶべきか悲しむべきか。

さて専らめでたからぬ嘆き節のみを綴ってしまったが、都合5人の花川館職員は<物数を極めて工夫を尽して>後の“花”を咲かせんものと一所懸命の日を送っている。名だたる石狩湾低気圧があおり立てる地吹雪の這い舞った一帯も、素枯れノッペラボーの早春を経て、花々が咲き競い、草木の鮮緑に明るむ四圍にアカシアの芳香が漂う昨今、ジュークタン敷き閲覧室の閑寂な雰囲気は、学問勉強の場として、一講にも及ばず好ましい。開館時間や、本館との図書共用の問題、とりわけ人文系書籍の増補など、目前の難題をクリヤーしつつ、研究に読書に最適の図書館に近づけたいと熱願している。



花川館の概要



所在地 〒061-32

石狩郡石狩町花川南4条5丁目

T E L (0133)74-8339

F A X (0133)74-8324

交通 地下鉄南北線麻生駅より

中央バス乗り換え

花畔団地線（花川南5丁目経由）で
花川南5-5下車

開館時間 9:30～16:30

（土曜日 9:30～12:30）

床面積 831m²

図書収容量 約5万冊

蔵書数 図書 約2万7000冊

雑誌 152タイトル

座席数 144席

学生数 487名（完成年次720名）

担当部門 奉仕業務

館員 職員3名 臨時職員2名

（1992.4.1現在）

5月1日、待ちに待たれた花川館が開館しました。カーペット敷き、ピンクを基調とした解放的で、明るい雰囲気の図書館です。

館内に入ってまず目につくのは3台のコンピュータではないでしょうか。花川館では、本を探すのに、カード目録ではなく、"FUJI-MARK"と名付けたCD-ROMを用意しました。音楽のCDと同じ様な直径12cmの円盤です。この中には約3万4,000件の主に本館所蔵の図書のデーターが入っています。文学部門は現在データーを作成中ですので入っていません。

花川館所蔵の図書は、主題別に並べられた書架で直接探すことができます。花川館では本館と違って、洋書、和書が混排されています。書名や著者名等から本を捜したいときは、業務用に作成したデーターから捜すことが出来ます。くわしくは係にお尋ね下さい。

図書館がふたつに分かれた為に、図書がほとんど無いという分野ができてしまいました。花川館では「文学の本が少ない」という声が寄せ

られ、本館では、お料理や手芸の本等がなくなり、戸惑っている学生の方も多いと思います。

本館では宗教、歴史、文学、語学、保育学の資料を、花川館では栄養学、食品学、家政学、自然科学関係の資料を中心に所蔵しています。現在欠けた部分を少しでも補いたいと、選書・整理を心がけ、優先的に作業をしています。

又、両館の資料を有効に利用する為に、一日一便の学内メイル便で本の貸借をしています。折込みの「本館・花川館検索・貸出申込書」に記入の上お申し込み下さい。

本学の図書館には現在、両館合わせて約22万2,000冊の図書があります。これは、北16条、花川両キャンパスの学生の共有財産です。物理的には確かに使いにくく、御不便をおかけしますが、求める資料が手に入るよう図書館では今後とも努力していきたいと思っています。学生の方々も、北16条から花川へ、花川から北16条へ積極的に足を運ばれる事をお勧めします。

引越しのお詫び

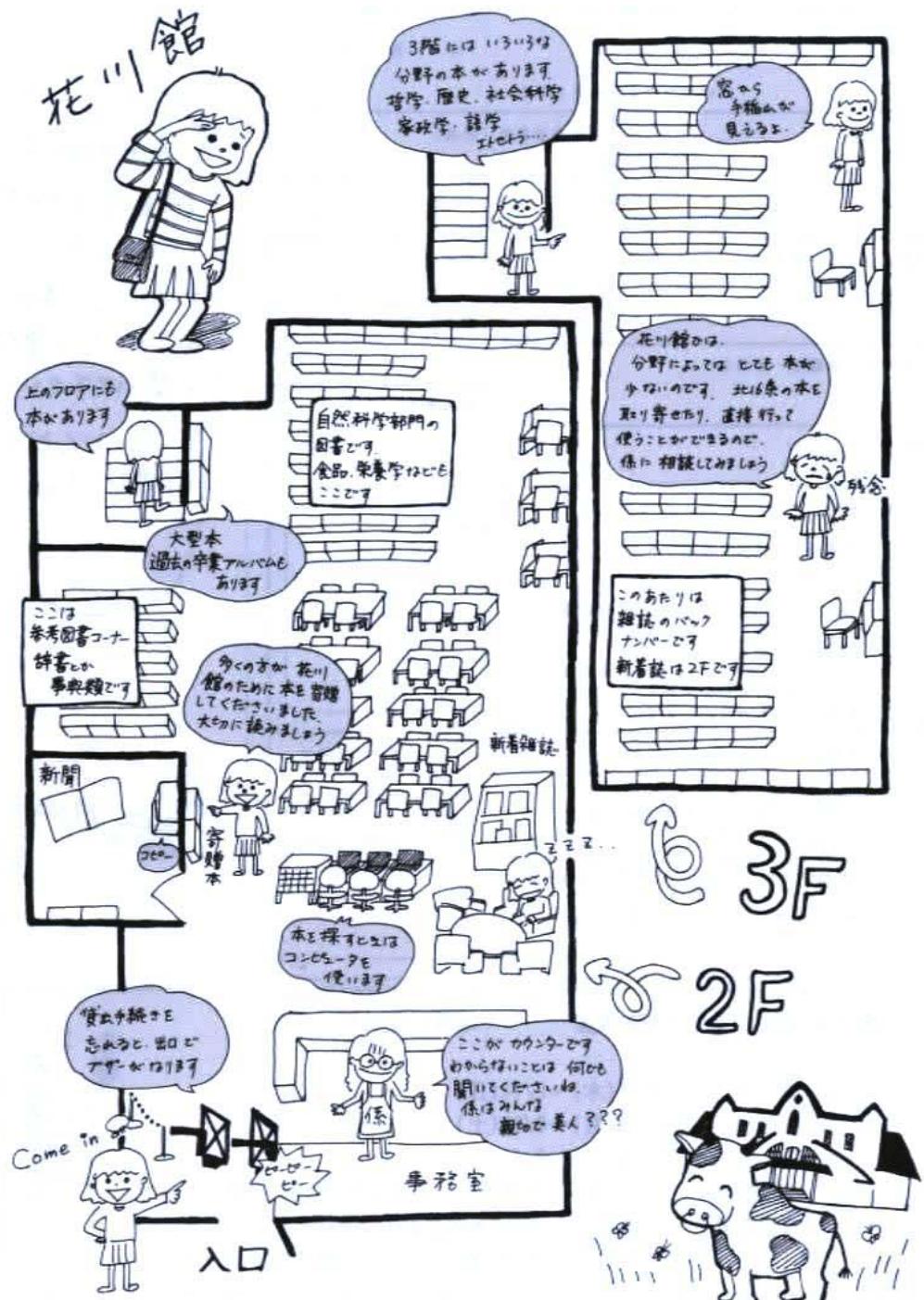
3月2日、図書館のお引越しの幕開けでした。図書館にいともなかなか体験できない、ビッグイベントになんとなく心踊るような?思いを抱いて臨みました。

しかしながら、現実はなかなか厳しいものでした。思いおこせば、昨年の夏休み、さかのぼること7ヶ月前から、資料の移動に関する準備は始まっていたのです。まず、手始めにキノルド館に別置してある雑誌の箱詰めという大仕事がありました。とはいっても、それだけにかかる訳にもいかず、その間、一部のメンバーは、移管資料に目印をつける作業をしていました。この可愛らしい(花)マーク、覚えていませんか?本にこのシールが貼られたのも、夏休みの閉館中の出来事だったのです。

その後開館中も、本館から移管する本が、花川館の所定の書架にきちんと並べてもらえるように、見出しをつけたり、花川館に持っていない本を書架から抜き出したりと、色々な作業がありました。

そして、3月2日、やっと引越しにこぎつけたのです。どうやって運ぶのかな?と思っていた私達の目の前で、業者の方がいとも簡単に10冊ぐらいの本を書架から出しては、紐で縛って、又書架に戻してと、随分、根気のいる作業でした。それをまとめて、いざ花川館へ。無事、一冊の本も迷子になることなく、きちんと書架に納まりました。実に2週間、最後には、さすがにお茶の時間になってしまっても、甘いものに手が出なくなったのも仕方がないのでしょうか。

それでも、図書館のお引越しに飽き足らず、自らのお引越しをして業者の方から手際が良いとほめられる人あり、又街なかで引越し仲間であるおじさんに声を掛ける人ありで、今思えば、貴重な楽しい体験だったという気がします。



本館・花川館検索・貸出申込書

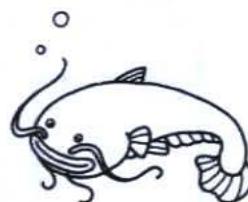
<本館・花川館 No. >

年 月 日受付

太い枠の中をお書きください

| | |
|--|--------------|
| 氏名 | 蔵出者番号(所属) |
| | TEL. |
| 書名(誌名・巻号) | 所蔵館 |
| | 請求記号 |
| 著者名(論題名・著者名) | 登録番号 |
| 出版社・出版年 | |
| 上記の資料を | 係欄 |
| <input type="checkbox"/> 所蔵の有無確認を希望します <input type="checkbox"/> 本館で利用します (月 日までに利用可能 でしたら申し込みます) <input type="checkbox"/> 花川館で利用します (月 日までに利用可能 でしたら申し込みます) <input type="checkbox"/> 貸出中であれば予約します | |
| 上記の資料は | 月 日回答 |
| <input type="checkbox"/> 所蔵しています □ 月 日までに(本館・花川館)においでください <input type="checkbox"/> 月 日に(本館・花川館)に届く予定です □ 貸出中です 月 日までに返却予定です <input type="checkbox"/> 所蔵していません <input type="checkbox"/> 不明中です | 係欄 指印 |

左の用紙は、
調査・案内センター
にあります。
わからない事が
ありましたら、館員
に聞いて下さい。
皆さん、どんどん
利用してね。



夏休みの図書館 — 本館・花川館 —

- 期間 7/30(木)~9/14(月)
 休館日 8/10(月)~8/15(土)
 8/31(月)~9/5(土)
 長期貸出 7/23(木)より開始し、返却は9/16(水)以降とします。
 貸出冊数 7/23(木)~7/29(水)は通常の扱いです。
 7/30(木)~9/14(月)はひとり10冊までです。



カベンダー

「日本の方ですか？」 英文科 新井 良夫

外国に滞在すると、この質問で日本人から声をかけられることがよくある。「ええ、そうですが・・・」と言ってから、しばらくは親しげに立ち話をすることになる。異国の街などで同国人に会うのは、ほっとするもので悪い気はない。最近のテレビでも、この状況をモチーフにした恋愛ドラマがあったほどだ。しかし一方では、「日本人」という理由だけで会話を強要されるのは、迷惑なことでもある。

昨年4月から1年間、海外研修でイギリスのスコットランドに滞在した。その間、研修先のエдинバラ大学だけでなく、様々な所で多くの日本人と「会話」をした。中には迷惑な会話ももちろんあった。やたらにイギリスの悪口を言う人、反対に日本の悪口ばかりの人、あるいは、探偵のごとくに人のことを根掘り葉掘り聞こうとする人。日本にいたら初対面の人とこんな会話はめったに無いだろう、と思われる内容だ。しかしいつも迷惑と言うわけではない。話してみると偶然にも、同じ立場で滞在していて近所に住んでいる、ということにでもなると心強い存在だ。そうなると、日本にいる時よりも短時間で急速に親しくなるものである。その上家族同士のお付き合いともなれば、偶然の出会いが以後ずっと続く友人を作ってくれることにもなる。

「日本の方ですか？」はあいさつの言葉だ。その出会いがどう展開するかは別にして、ともかく目の前にいる人に向かって発せられた「こんにちは！」なのである。日本人らしく見え、日本語が通じそうに思えるので、ほっと安心して一息ついた、という訳だ。少なくとも、そうであってほしい。ところで実は、最近では、このような「あいさつ」をするのは日本人ばかりではない。

「ニホンジンデスカ？」と日本語でイギリス

人から声をかけられることも時々あった。

バブで近くに座った若者二人が話しかけてきた。経営学を勉強している大学生だが、日本語も選択して学んでいる、という。卒業したら、本格的に日本語を学ぶために日本に行く計画を立てている。

子供達が通った近くの小学校の前に、毎朝来ている子供好きのおじいさん、デレックおじいさんもその一人。戦後の在日駐留イギリス軍として、数年間東京に滞在した。「オハヨウ！」と言って握手をしてから校内に入るのが、我が家子供達の日課となつた。

スーパーマーケットで話してきたのは、外国语を学ぶのを趣味にしているおじさん。日本語はまだ少ししか知らないが、と言いつつ誇らしげにそして嬉しそうに教えてくれたのが次の3つ。「おはよう、オブリガト、ニーハオは！」2つ目はポルトガル語の「ありがとう」だし、最後は中国語と混同しているのはすぐに分かったが、あえて訂正はしなかった。そのすばらしく旺盛な学習意欲に圧倒されたからだ！



しかし一番印象深かったのは、エдинバラ大学の日本語専攻の学生達だ。専攻の動機はそれぞれ違うものの、日本と日本語を、学ぼうとするその意気込みはすごい。そして、3年生の時の1年間は日本に留学することになっており、その期待と夢でおおいに燃えている。

今や、日本の老若男女だれもが何かと口にする「国際化」。それに関する現在のキーワードの1つは、「発信型の国際理解」と言うことになるだろう。今までの「受信型の国際理解」は外国を理解することであったのに対して、「発信型」では日本を知ってもらうことが重要だ。イギリスからだけでなく世界中から、「日本」に飛び込んで来て、「日本」を知りたいという人達が多くなってきている。それに較べて、日本を知ってもらうという準備が、われわれ日本人の側に十分出来ていないのではないか、とも思える。「日本語はむずかしいから・・・」あるいは、「あれだけで日本を理解したつもりになってしまわれては困る・・・」、というような批判を耳にすることも多い。要するに、「日本のことば日本人にしか分からぬ」という姿勢なのだ。

「日本人というのは・・・」「イギリス人とは・・・」という発想でもって、自分の目の前にいる人を見るのではなく、「日本人」である前に一人の人間として尊重されなければならぬ。「日本人の方ですか?」が、日本人とその他の外国人とを区別するためのものであってはならない。

英語の“Hi! How are you?”というあいさつは、見知らぬ人に使ってもあまり不自然ではないようだ。むしろ、気軽に話しかけるきっかけ

となる。こういう風に声をかけられて、その人と話したければそのまま会話を続けられるし、話したくなれば“Fine, thanks. Have a nice day!”とでも言って簡単にその場を失礼することができる。

「日本の方ですか?」が、“Hi! How are you?”と同じように気軽なあいさつであれば、実に気持ちよく応答できる。しかし、何を聞かれるのだろうか、何を話したらいいのだろうか、とか考え始めると、声をかけられる前にその場を逃げだしたくなる。だから、単なるあいさつであるべきなのだ。そして、そうあるように一人一人が準備することこそ、眞の国際化であり、眞の国際人になる、と言えるのではないだろうか。



新しい一雑誌が——入ります

| | | |
|-----|--------------------|---------------------|
| 本館 | イメージ(青土社) | くらしの木(日本サイクル運動) |
| | マリ・クレール(中央公論社) | NHKきょうの料理(日本放送出版協会) |
| | サライ(小学館) | UTAN(学習研究社) |
| 花川館 | 美術手帖(美術出版社) | 福祉労働(現代書館) |
| | 科学朝日(朝日新聞社出版局) | 家庭画報(世界文化社) |
| | 季刊アスティオン(TBSアリエッタ) | マナメッセ(マナセ) |
| | 音楽現代(芸術現代社) | オレンジページ(オレンジペーパー) |
| | 小説フェミナ(学習研究社) | 小説新潮(新潮社) |
| | 太陽(平凡社) | 日本経済新聞 |
| | | へるめす(岩波書店) |
| | | 暮しの設計(中央公論社) |
| | | NEWTON(教育社) |
| | | 小説すばる(集英社) |
| | | The Student Times |

知られざる世界
藤図書館のあれこれ

みなさんが、よく知っているはずの図書館のことをいまさら……と思われる方も多いかと思いますが、藤図書館にはまだまだお見せしていないことがたくさんあるんですよ。ということで、今回はみなさんが普段あまり接することのない方々に、「藤図書館で働いてみて、びっくりしたこと」についてインタビューしてみました。

△まずは、本の受け入れの窓口である総務部所属の方々に聞いてみました。



総務部
県系 智子

学生の頃、気になっていたんです。体育館に行く途中にある図書館事務室……この中で本達は多くの人々に愛情を注がれ、閲覧室に行く日を心待ちにしていたのです。こんなに大切にされていたなんて……と思うと一冊の重みが違ってきます。益々本に愛着がわく今日この頃です。



総務部
後藤 花絵

はじめまして、4月から新しく図書館で働いています。アルバイトとして1階の図書館事務室の総務部でみなさんのお手伝いをしています。何もかも新しいことばかりなので驚いてばかりですが、図書館がこんなに機械化されているとは思ってもいなかっただす。



総務部

関口 みづほ

図書館というと、カウンターで本を読んでいるようなそんな安易なイメージがありましたが、実際働いてみて、本が貸し出される状態になるまでに、いかに多くの手間と時間と人手がいるかということに驚きましたね。外から見るとわからないことというのは本当に多いものだなと思っています。



総務部
谷 克美

びっくりしたというと、うーん やっぱり仕事内容でしょうか……図書館の仕事って思っていたよりもずっと手間がかかっているという事。本が閲覧室に並ぶまで色々な人達の苦労を経て、やっと学生さん達に利用されているという事は、その作業の仲間入りをして初めて知りました。



整理部
柏木 規子

図書館職員になって、びっくりしたこと。それは、学生時代には何げなく見てた図書館の本だけど、一冊の本が図書館に並ぶまでには、ながーい道のりがあるってこと。たった一冊の本でも、何人の館員の手がかかっています。大切に扱ってくださいね。



整理部

中村 友昭

初めまして中村です。現在CD-ROMの制作の仕事をしています。6月に0~8門のCD-ROMが完成します。花川図書館に行った時見て下さいね。9門文学は現在作業中で、完成は来年の予定です。不十分な所もありますがみなさんの声を聞かせてください。待っています。

▷ 柏木さん、中村さんは、今年4月より職員となりました。



整理部

原田 伸子

学生の頃は図書館というとカウンターの仕事だけだと思っていましたが、購入や分類など色々な仕事があります。25人も図書館で働いていけるとは学生の皆さんも意外ではないでしょうか?他には書庫2層の知られざる十数万円の美術書があることなども、働いてびっくりしたことです。



整理部

吉沢 深雪

驚きました。洗剤入れの中のオタマ、木製のタオル掛け、上から読んでも下から読んでも同じ、某図書館用品メーカーの名前、お3時のおやつ、土曜日の午前中にある昼休み、食堂の奥にある職員専用の間、同じ係の男性の机の上にいる、ピンクのギョビちゃん。

▷ 最後になりましたが、みんながいつも直接お世話になっている、奉仕部所属の貸出カウン

ターのお三方の、お話しをどうぞ。



奉仕部(花川)

高橋 里奈

時計がない。がマリア様は必ずいる。冬、あまりの寒さに電気ストーブを使うがヒューズがとぶという罪で一台強制連行された。因みに今年は石油ストーブになったがここでバケツの悲劇が起こる。運悪く水の入ったままのバケツは一瞬の内にストーブの上で“蒸発皿”と化した。



奉仕部(花川)

三浦 和子

お茶の時間がある。本館事務所に、北11条の光明センターの修道士トマさんがクッキーを売りに来るので「クッキー売りのトマさん」と言われていること、あの花川校舎の色を、もうなんとも思わなくなっここと、花川館の窓を開けられない理由①風の砂②におい。



奉仕部

山田 尚子

なんといっても、蛍光灯のスイッチの数!! 閲覧室には18箇所、書庫には3層合わせて51箇所もあるんです。しかも、本のすき間の書架をくりぬいて付いていたりします。おかげで毎日開館前には、図書館中を走りまわることになります。試しに皆さんも一度探してみて下さい。

いかがだったでしょうか? 藤図書館の新たな顔がみえてきましたか? これからも、図書館+館員共々よろしくお願ひします。

おしらせ

花川館開設に伴い、平成4年度からの開館時間、貸出冊数、その他大幅に変更になりました。

| | 本館 | | 花川館 | | |
|--------------|----------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | 通常 | 休電中 | 通常 | 休電中 | |
| 開館時間 | 月～金 土 | 9:30～18:00 9:30～14:00 | 9:30～16:00 9:30～12:30 | 9:30～16:30 9:30～12:30 | 9:30～16:00 9:30～12:30 |
| 調査案内 取扱時間 | 月～金 土 | 9:30～16:00 9:30～13:00 | 9:30～15:30 9:30～12:00 | 9:30～16:00 9:30～11:00 | 9:30～15:30 9:30～11:00 |
| 一張貸出 | 月～金 土 | 16:00～翌朝10:40 12:00～月曜10:40 | 15:30～翌朝10:40 12:00～月曜10:40 | 15:30～翌朝10:40 12:00～月曜10:40 | 15:30～翌朝10:40 12:00～月曜10:40 |

・北16条キャンパス、花川キャンパス共に、1講目の開始時間が9:00からとなったのをうけて、開館時間もスライドしました。本館の開館時間は18:00までになりましたので、5講目終了後に、短時間ですが利用できるようになりました。花川館は人員の確保ができませんので、16:30までの開館です。

・一夜貸出の返却時間が10:40までに延びましたので、1講目終了後の返却も間に合います。

一般貸出（一般図書・雑誌・その他）

- ・実習期間、春・夏・冬休み中は期間を延長します。
- ・試験期は学生と卒業生の皆さんとの貸出期間を短縮します。
- ・教職員の皆さんとの貸出期間は1年間ですが、予約の入った場合など、期間内に返却を求めることがあります。
- ・本館・花川館間の取りよせによる貸出期間は2週間になります。
- ・学生、教職員以外の方は利用証の提示が必要です。貸出カウンターで作成しますので、係員にお申しつけ下さい。

| | 冊数 | 期間 |
|--------------------------------------|-------|---------|
| 学生 | 1～3年生 | 5冊 2週間 |
| | 4年生 | 10冊 2週間 |
| 卒業生 | 5冊 | 2週間 |
| 教職員 | | 1年間 |
| 学外講師・大学採用の臨時職員・旧教職員・聖職者・大学短大以外の学園関係者 | | 1ヶ月 |

一夜貸出（参考図書・指定図書・新着資料・新聞原紙） 冊数制限はありません。

複写料金

- ・本館・花川館共、セルフサービスのコピー機を設置していますが、5月25日より料金を1枚10円に値下げしました。



今回の変更でサービスの向上をはかりましたが、その一方で、本館・花川館共、資料に主題の偏りが生じ、蔵書構成のバランスは欠けている状態です。前述した花川館紹介の中で、取りよせ、直接利用をどちらの館でもできる点に触れておきましたが、「平日は講義に追われて、通っていないキャンパスにある館を訪れて、ゆっくり資料を手に取る時間がない」という声も聞こえてきます。

そのような方々に利用していただけるようにとの思いも込めて、貸出冊数をそれぞれの館から10冊まで借りることができますようにしました。この機会に是非、直接利用をどうぞ。くわしくは折込みの「夏休みの図書館」をご覧下さい。



藤女子大学 図書館だより 第41号 1992.7.10

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館
TEL 011-736-0311㈹ FAX 011-709-4770